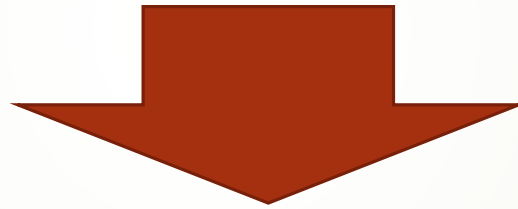


# 守山市地域学校協働活動



## 概要

地域と学校が連携・協働し、保護者や地域住民等の「こども応援団」の参加により、地域全体で子どもたちの成長を支える。



## 目的

子どもへの関わりを通して地域、公民館と学校がよりよくつながり、**地域ぐるみで子育てを行う共同体機能を強化**する。

# 学校教育

教職員が  
学校で  
子どもたちを  
育てる。

## 地域学校 協働活動

地域の方と  
教職員が  
協働的に  
子どもたち  
を育てる

# 社会教育

保護者や地域の方が  
地域社会で  
子どもたちを  
育てる。

ねらいや育てたい子ども像の共有

子どものさら  
なる成長

教員の指導力の向上

地域のつながり  
や教育力の強化

# 学習指導要領前文<sup>(H29告示)</sup>

## 改訂の基本的な考え方

これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を生かし、子供たちが未来社会を切り拓ひらくための資質・能力を一層確実に育成することを目指す。その際、**子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視**すること。

### ④ 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進

学校全体として、**児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し**、教育内容や時間の配分、必要な人的・物的体制の確保、教育課程の実施状況に基づく改善などを通して、教育活動の質を向上させ、**学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努めること**

# 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して (R3答申)

## 2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて (4) 新たな動き

・・・新しい学習指導要領では資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に整理した上で、**よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、**どのような資質・能力を身に付けられるのかを明確にしながら、**学校教育を学校内に閉じず、地域の人的・物的資源も活用し、社会との連携及び協働によりその実現を図る「社会に開かれた教育課程」を重視する**・・・。

# 守山市教育行政大綱

## 「心豊かで、しなやかに生き抜く人づくり」（令和6年度～9年度）

学校園、家庭、地域との関わり合いを通して、これからの予測困難な時代を生き抜くための力を養う教育の推進。**社会全体がこどもの教育に関わり**、「すべての人がともに学び支え合う」ことで、基本理念の実現に向けた教育を推進する。

## 令和7年度守山市教育方針

### 2 令和7年度各事業の取組

#### (4) 学校・園教育について

社会情勢や教育環境の変化に対応しつつ、新しい学校・園教育のあり方を見定め、「生きる力」を育む教育を推進し、心豊かで、しなやかに生きる園児、児童生徒を育成します。また、校種間の一層の連携を図り創意ある教育活動を展開する中で、**地域に開かれ、地域の信頼に応える学校・園教育**を推進します。

さらに、地域や保護者との連携を推進し、チーム学校・園として学校力・園力の向上に努め、学校・園の教育方針や教育活動の情報を地域に発信し、**地域人材の支援を得て、学校と地域社会との強力なパートナーシップのもと、地域の教育力を最大限に生かした教育活動の充実を図ります。**・・・

# 地域学校協働活動

## 1年目（R5） 連携の土台づくり

- ・ 小学校 2 校、中学校 1 校を指定

## 2年目（R6） こども応援団の開拓

- ・ 全小中学校で開始。できる活動から実施

## 3年目（R7） 双方向の連携

- ・ ねらいや育てたい子ども像を共有して実施

今後の展望

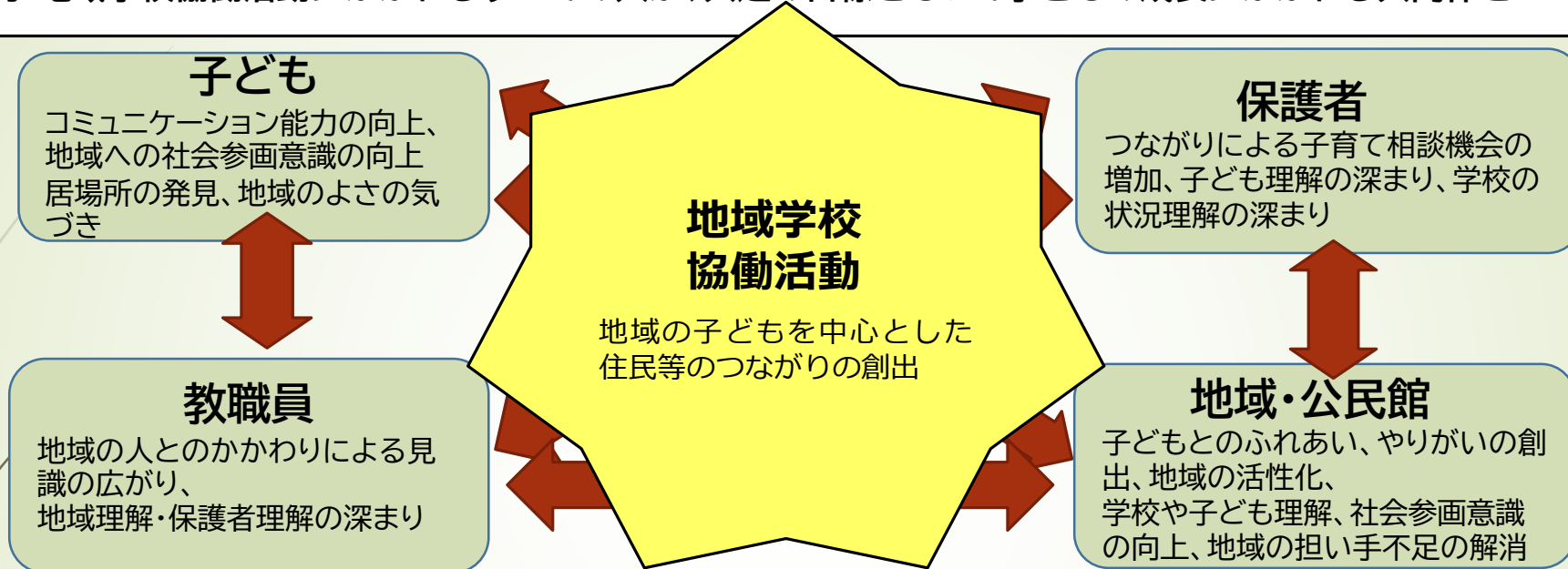
地域主体の取組との連携

連携の日常化

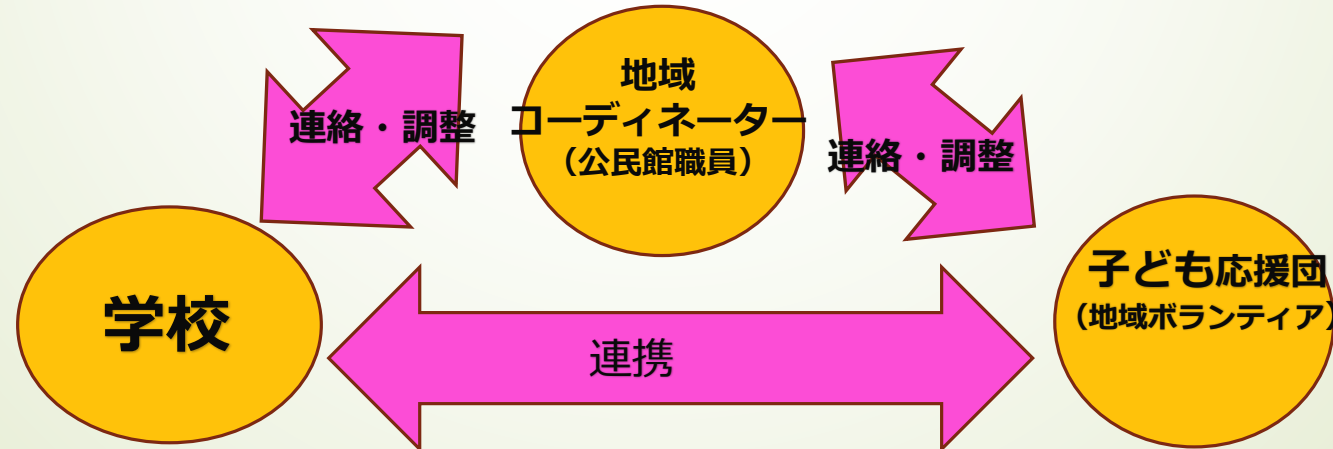
# 地域学校協働活動

地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動の推進

目的: 地域学校協働活動にかかわるすべての人が、共通の目標をもって子どもの成長にかかわる共同体をつくる。



守山版



## 公民館と学校の組み合わせ

守山公民館（守山小、物部小） 、 吉身公民館（吉身小、立入が丘小）、

小津公民館（守山南中、小津小）、 玉津公民館（守山中、玉津小）

河西公民館（守山北中、河西小）、 速野公民館（速野小）

中洲公民館（明富中、中洲小）

## ボランティア活動による子どもの活動支援



5年生田植え体験（守山小）



花壇ボランティア（物部小）



地域の方と稲刈り（速野小）



書体験（河西小）



夏休みの図書室開放（玉津小）



## ボランティア活動による子どもの活動支援



いもほり（河西小）



家庭科支援（玉津小）



家庭科支援（守山中）



合唱コンクール支援（守山南中）



昔遊び支援（吉身小）



## 学校施設を使っていたかく



自治会長会で参観（小津小）



地域会議の学校開催（守山南中）



自治会長会を学校で開催（守山中）



中庭活性化プロジェクト（明富中）



# 学校施設を使っていたく

**ほうかご たいけん 教室**  
会場：立入が丘小学校

**おんがく**  
プログラミング★リズム  
オリジナルビートを演奏しよう！

先生：菊口 みわこ  
テーマ：音楽教室  
対象：小学校1～6年生  
材料費：なし 定員：20名  
持ち物：のり、はさみ

はじめてでもだいじょうぶ！TikTokやYouTubeで流行りの曲に合わせて、かつこよく演奏♪音符カードを自由に切って並べ、世界にひとつだけの「はく・わたしのリズム」を作ったくより音を作る・たたく楽しさをたいけんしてみよう！

**マンガ**  
かいてワクワク！  
自分のキャラを描いてみよう！

先生：吉田 裕介 & LEON  
テーマ：マンガアート学習  
対象：小学校3～6年生  
材料費：なし 定員：10名  
持ち物：えんぴつ、けしこむ

絵が上手になる方法が学べる！？プロに教えてもらって、自分だけのマンガのキャラクターをつくってみよう！キャラのイメージが作れたら、実際に絵を描いて自分だけのデザインにチャレンジしてみよう！自分だけのキャラを生み出そう！

**ケーキ**  
守山の食材を使って  
親子でホールケーキをつくろう！

先生：吉田 裕介 子  
テーマ：ケーキ屋パレット  
対象：小学校5～6年生  
(保護者様の参加必須)  
材料費：なし 定員：親子12組  
持ち物：エプロン、三角巾、ハンカチ

おうちのひとと一緒に、パティシエさんに教えてもらってケーキをつくろう！ケーキ屋さんのとっておきのスポンジに、守山のフルーツとふわふわの生クリームを使って自分だけのケーキづくり！作ったケーキはおうちでみんなで食べよう！

**9.1** 13:30 3階多目的室集合  
月曜日 13:30-15:30

Googleフォーム  
申込先着順！→  
お申し込みはこちら

**yourship** social education  
たいけんをとおして  
“高なたらし”をさぐぐむ

社会教育士である2名の代表がSocial education(社会教育)をベースに様々な体験や学びの機会を、地域で生み出す取り組みを行っています。本事業は、令和7年度さんさんまちづくり助成金の助成を受け実施しています。

主催・お問い合わせ先：  
一般社団法人 yourship  
(info@yourship.org)

後援：守山市  
守山市教育委員会  
瀬田東洋菓子協会



2025.9.6 京都新聞

専門家指導、親子が体験  
守山で教室 漫画やケーキ作り

子どもたちにさまざまな体験をしようという「放課後のいけん教室」が、守山市立入町・立入が丘小学校で開かれた。児童や保護者が、漫画の描き方や、ケーキ作りなどを専門家から教わった。

同教室は、社会問題となつていくものの体験格差を地域の方で解消しようと、社会教育事業を手がける「yourship」(ユアシップ)「愛荘町」が、市の助成を受け3月から同小で開催している。

1日に開かれた教室では、希望した同小の子どもたちと保護者約30人と保護者が参加。3「放課後のいけん教室」グループに分かれて、体験した。

ケーキ作りのグループは、市内に店がある洋菓子会社のパティシエが、市内産のナシを使ったケーキのデコレーションを指導。子どもたちは、手振の実演を見学したあと、保護者と一緒に、用意されたスポンジにクリームを塗り、切ったナシを挟んだり飾ったりして仕上げた。

祖母と参加した5年の白川直央さん(10)は「料理に興味があったので参加した。クリームを平らに塗るのが難しかった。ケーキは母親にあげたい」と話していた。(石田真由美)

守山のナシを使ったデコレーションケーキを作る親子(守山市立入町・立入が丘小)

ほうかごたいけん教室の実施 (立入が丘小)

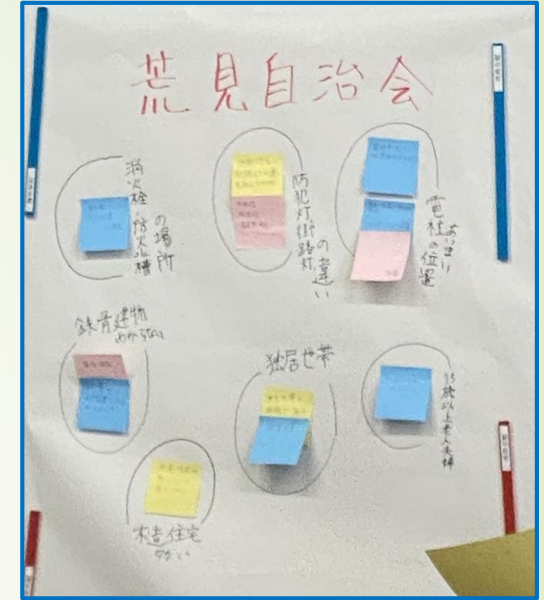
## 地域と共におこなう活動



学区民のつどい参加（守山中）



学区防災訓練（守山北中）



あいさつうちわ運動（中洲小）



学区民のつどい参加（河西小）

# 期待される効果

## こどもにとって・・・

- 地域の人々と子どもたちの活動や交流を通して、**子どもたちのコミュニケーション力や社会性が育つ**
- 地域の人々の多様な知識・経験により、子どもたちの多様な**体験の場が増え**、子どもたちの学習に対する**興味・関心・意欲が高まる**
- 地域の人々との交流を通して多様な価値観や文化に触れることができ、地域のよさに気づく
- 周りの人への感謝の気持ちや、**地域への愛着が深まる**

# 期待される効果

## 学校・先生たちにとって・・・

- 地域の人々の専門的な知識や技能を生かして、**より豊かな授業をつくることができる**
- 学校や子どもの実態を地域の人たちに理解してもらえ、**学校をより開かれたものにできる**
- 先生とは異なる視点から新しい学習の課題を見つけたり、提案したりするなど、**学校にとって新たな発想や工夫をもたらす**
- 活動を通して、学校への理解・共感を深めることができ、学校と地域の人々を強く結びつける

# 期待される効果

地域住民（こども応援団）にとって・・・

- 子どもたちのことがわかり、子どもたちとのつながりができる
- 子どもたちから元気をもらえる**
- 自分の経験や特技、学んだことを生かすことができる
- 学校や子どもの**役に立つことで、喜びや充実感を得ることができ**  
**きる**
- より向上したい、学びたいという意欲がわいてくる
- 活動を通して、**人や地域とのつながりがより深く豊かになる**
- 学校や子どもたちに関わるということは、**未来のまちづくり**に  
参画することにつながる

# 地域学校協働活動と学校運営協議会

**学校運営協議会**  
知る（情報共有）  
考える（熟議）

**地域学校協働活動**

実現させる（協働）

**ビジョン共有**

地域・家庭・学校の現状理解  
めざす子ども像の共有  
学校運営ビジョンの共有  
活動に携わる各団体  
（個人）の取組共有

校長・地域住民・  
保護者・元教員・  
地域学校協働活動  
関係者等で組織